

飛鳥と

古きもの
明日のもの

2018年
春から
夏へ
No. 6



花かすみ（甘樫丘より大和平野を望む）

※1 天にも轟く。雷の上に【枕】
柿本人麿（巻三―二三五）

大君は 神にしませば 天雲の
雷の上に 盧らせるかも



夏の暮れ時（石舞台）

写真／加藤秀行

天皇を讃えた柿本人麿の歌です。
持統天皇が国見（国の形勢を高い所から望み見る）をなさる行宮（天皇の行幸（外出時の仮の宮）を雷の丘に建てられるのは天皇が神だから出来るのだ」と賛辞しています。当時この丘には雷神が住むといわれ、一般の人々が行く事すらはかれる場所でした。大化の改新後、天皇の力は強固になり、壬申の乱で勝利をおさめた天武天皇以来、天皇は神として崇められるようになります。

※2 雷の集落にあるこの丘は道を挟んで南北に分かれています。万葉の頃は、この二つの丘が一つになった大きな山で、すぐ南に位置する甘樫丘を凌ぐ山だったのでは…という説があります。頂上からは大和平野や大和三山が一望でき、まさに「大和は国のまほろば…」を実感できる場所です。



平成30年（3月～9月）
イベントスケジュール

3月	4月	5月	6月	8月	9月
下旬 4月上旬	1日	3～5日	9日	26日	中旬頃
楽	楽	楽	学	学	楽
石舞台古墳 桜ライトアップ	盟神探湯神事 「甘樫坐神社」	飛鳥寺 花会式	第281回あすか塾	岡寺 石楠花まつり	いちご狩り（事前申込必要） 0744-541115
里山あそび広場 2018春	飛鳥周遊クイズラリー	飛鳥周遊クイズラリー	第282回あすか塾	第283回あすか塾	第88回現地研修会
飛鳥周遊クイズラリー	飛鳥周遊クイズラリー	飛鳥周遊クイズラリー	飛鳥周遊クイズラリー	飛鳥周遊クイズラリー	飛鳥周遊クイズラリー

※3月1日現在の情報です。イベントに参加される際は必ず事前にご確認ください。

お問合せ先
●飛鳥総合案内所「飛鳥びとの館」
0744-543624
0744-542362
●飛鳥京観光協会
0744-542362
●あすか塾・現地研修会のお問い合わせは「飛鳥の宿 祝戸荘」まで
0744-543551



渡来系集団の足跡

今回は、明日香村における渡来人の痕跡を探ってみましょう。『日本書紀』によれば、大陸や半島から渡来した人々が初めてやってきたとされるのは、檜前地域です。根拠として『日本書紀』巻第十応神天皇「二十年の秋九月に、倭漢直の祖阿知使主、其の子都加使主、並に己が黨類十七縣を率て、來歸り。」の記載があげられます。この意味は、「渡来系集団の長にあたる倭漢直の祖先である阿知使主とその子供の都加使主が、同族をたくさん引き連れて渡来した」というものです。檜前には渡来系要素の強い檜隈寺があり、境内地に於美阿志神社が鎮座します。於美阿志と阿知使主との関連づけから、倭漢氏と呼ばれた渡来系集団が、檜前に渡来したという根拠になっているのです。この地域では、4～5世紀代に遡る、百済周辺の影響をうけた土器が出土しており、『書紀』との関連性に注目が集まります。初めて明日香村にやってきた渡来人とは、どのような人々だったのでしょうか。



於美阿志神社

（明日香村文化財課）
高橋 幸治



～野菜buffetで大満足 素材の良さが味の要～

旬菜館内にある「ポカフレール」は明日香の旬食材をたっぷり使ったカジュアルフレンチの店。私がいただくのは「古代米ご飯のワンプレートランチ」(1,000円) 鶏肉・魚・ハンバーグからメインを選ぶと前菜盛り合わせ・スープ・古代米・自家製パンがついてくる。そして、お目当ての野菜ビュッフェへ…常時、13～15種類の冷・温野菜がたっぷりいただける。

オーナーシェフの中北毅氏はこの店をオープンする時に、自分の推す野菜を農家さんに作ってもらう事から始めた。「来店された方に明日香の野菜を思う存分食べてもらう事が、農家さんへの恩返し」と言う。

「僕のイチオシはシンプルにゆでただけの大根です。野菜の種類や収穫時期に応じて、塩の濃度を変えています」というこだわりよう。

道理で野菜本来の味が楽しめるはずだ。ドレッシングも全て手造りで、お好みでかけるのも又、楽し。わざわざでも食べに行く価値は大！の私のお気に入り。食と農の距離を縮める担い手として野菜の魅力を最大限表現できる店だ。



温野菜は塩ゆでのみ+500円でデザート(3種類)と飲み物がついて、とてもお得。



オーナーシェフ・中北毅氏、スタッフ・村上愛さん、佐野有賀さん

(メニュー) 保育士の免許を持つオーナーシェフならではの「キッズプレート」¥600
メイン料理(鶏・魚・ハンバーグから選択) 自家製パン・古代米・スープ・ジュース・デザート付
・日替わりバスタ (パン・スープ付) ¥1,000 ・ケーキセット ¥500～
※天候などの事情により、野菜ビュッフェは提供できない場合があります。

- ◆電話：080-3101-7888 ◆住所：明日香村島庄51-1 (夢の旬菜館内)
- ◆時間：11:30～17:00 (ランチは15:00まで)
- ◆駐車場：石舞台駐車場内専用スペースあり 15台 施設敷地内 5台
- ◆定休日：水曜・年末年始 ※テラス席ではペット同伴可

Restaurant introduction

マイブームがきています。ピンバッチをカバンや帽子につけること。それも歴女が喜びそうな青龍・白虎・朱雀・玄武のピンバッチなんです(写真「飛鳥びとの館」で見つけて、つけていると「それ、おしゃやね。マニアック！」って声を掛けていただけます(笑))

実はこのピンバッチは飛鳥応援大使の方が製作されたものです。生みの親によると「軽く・薄く・小さく」を目指したとの事。こんなおしゃやな絵が1300年前に壁面に描かれていたなんて！ロマンを感じると共に私の身にも四神が降臨したような：とても敵な気持ちになれるんです。

さあ、春爛漫の季節がやってきました。厚いコートを脱いで色とりどりの花がうたう大和・明日香へお越しくださいませ。



新子 信子

編集後記



めていくと、木札を発見。参加者から歓声があがりました。取り出した木札を水で洗い、だんだんと文字が判別できるようになると参加者は感慨深く自分の木札を手にとっていました。10年の月日で木札はボロボロになりましたが、1300年前の木簡に文字が残って現存することがいかにすごいことがよくわかる体験でした。

飛鳥駅前で花壇作り



私と飛鳥



「飛鳥駅前 花風景の立て役者」

私が初めて飛鳥に来たのは60年前の遠足でした。

その時の駅名は「橘寺駅」。まだ駅前広場もなく、草木もぼうぼう…道端に自転車数台置いてあるだけで、「随分寂しい田舎に来たもんだ」というのが第一印象でした。

それから数十年後の昭和47年に高

松塚古墳から壁画が発見され、日本中に考古学ブームが起きました。

その頃、縁があった駅前で「ペンション飛鳥」を始めることになったのです。今はオーナーを退き、5年前から駅前サポーターとして、花風景の取り組みをしています。駅を降りた時に「わあ、綺麗やなあ。飛鳥らしいなあ」と感動してもらえる飛鳥の玄関口にしたいと、ヒガン花の植栽や花壇作り、カカシを立てたりと徐々にですが、成果が出てきたと自負しています。又、飛鳥らしい田舎の風景を感じてもらいたいと、大根やさつまいも、かぼちゃなんかも育

ています。近々、駅前には全国的にも珍しい電車のターミナルと一体化した『道の駅』になるそうです。

私も体の動く限りサポーターの仲間とワイワイ楽しみながら一緒に汗を流すつもりです。

『古代のロマンを夢見た旅人 日本遺産の玄関口からさあ出発だ』
飛鳥駅前サポーター 田原 一雄

生姜や筍、山菜、栗などの旬ものを使い、シリーズ化を考案中。主任の上内眞紀さんと我野知恵美さんは元々、あすか夢販売所の勤務だった。「加工担当」になり、衛生管理や商品開発、原価計算などを勉強するというゼロからのスタートで、不安だらけでした」と当時を振り返る。今では「スーパーに行ったら、ラベルのデザインや裏シールの表示が気になって…」と苦笑い。

「これからも同じ志を持った人々と加工・物販・レストランとの結びつきを強化して、村の農業の活性化を図っていききたい」と店長の思いは留まるどころがない。

物販コーナー



「生姜の炊き込みご飯の素」
ピリリと辛いだけでない生姜の「香り」が最高
二合炊き (3～4人前) ¥450



店内では明日香村の案内や情報コーナーも常設。
9:00～17:00



「よもぎもち」
真正正銘！手摘みのよもぎは香りが違う。
10ヶ入 ¥600



「フリーズドライいちご」
“あすかるビー”を使用。
甘酸っぱくてボリューム満点！
5ヶ入 ¥380

- ◆☎0744-54-5670 (あすか夢販売所内)
- ◆明日香村島庄51-1
- ◆駐車場：石舞台駐車場内専用スペースあり 15台 施設敷地内 5台



明日香「夢の旬菜館」

明日香の食材をたっぷり使った加工・物販・レストラン

石舞台駐車場の西隣にある「旬菜館」には加工所と物産店、そしてレストラン「ポカフレール」(誌面「食」で紹介)が併設されている。



「加工食品の一番のこだわりは原材料の出所がはっきりして安心して口にできるもの」という福井店長。そう、ここは飛鳥駅前にある農産物直売所「あすか夢販売所」を運営する農事組合法人「ふるさと明日香」の加工部門を担うため、4年前に立ち上げられたのが旬菜館。なので、とことん原材料にこだわりのも詰める。

イチオシは「炊き込みご飯の素」だ。



上平田「二本木オーナー」



その昔、田道間守が不老不死の薬といわれた橘を中国から持ち帰ったことから、明日香は「みかん発祥の地」と伝えられている。

とりわけ、ここ上平田は明治時代から100年も続く歴史ある産地だ。その地で木まるごと一本分のみかんを収穫できる「一本木オーナー」が今年18年目を迎える。5月の木の



みかんの木に名札かけ
抽選日には、真っ白いみかんの花が満開で迎えてくれる。「あま〜い大きなみかんになあれ！」

と願いを込めて自分の木に名札をかける。7月には摘果作業。この時がみかん収穫の運命の分かれ道となる。摘果の数を多くすれば、残りが大きな実をつけ、摘果が少なければ、小ぶりなみかんが沢山できる。担い手によると、「あまり残しすぎると木が重くなって負担がかかり、翌年の出来高が少なくなる」のだそう。この時にとれる真青な摘果みかんには爽やかな酸味があるので、ジュースにしたり、お酒で割ったり、ばん酢を作ったりと、この日を楽しまに来るオーナーも多いとか。

そして11月の収穫祭へと楽しみがクライマックスへ…。年間3回の作業の最後にはワクワクする🍷のお楽しみイベ



みかんの収穫で和気あいあい

お問合せ
(一財) 明日香村地域振興公社
☎0744 (54) 9200
E-mail info@asukadeasobo.jp

ントもあり、一つの作業と一緒にすることで家族や友人のキズナも深まる毎年大盛況の「二本木オーナー」…あなたも自分だけのみかんの木を育ててみませんか？

5月 みかんの木の抽選と名札かけ
7月 摘果作業
11月 収穫祭
※各作業後にお楽しみあり
会費：10,000円/口



イベント報告

平成30年2月4日(日)、国営飛鳥歴史公園石舞台地区の一角で、「木簡タイムカプセル」の発掘を行いました。この催しは10年前の平成20年2月3日に石舞台発掘調査75年記念イベントの1環で、木簡をイメージした木札に10年後の自分のメッセージを参加者に記入してもらい、そのまゝの状態です中に投函してもらいました。発掘当日、10年前と同じように雪が舞う中、約100名の参加者があり、事前に試掘した穴に数名ずつ入っていただき、発掘開始。少しずつ掘り進

私たちは
古都飛鳥保存財団の活動を
応援しています

Panasonic



奈良交通



都ホテルズ & リゾーツ

日本料理
月日亭
TSUKIHI TEI



近畿日本鉄道株式会社

